

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	010501010100		事業の種類	2			
年度	25	事務事業名	市民体育館管理事業	予算事業名	市民体育館運営管理事業	優先度	3
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘	
取組み事項	スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名	市民体育館改修						
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、体育館利用者					
	誰(何)を対象として	市民、体育館利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が市民体育館を利用し、安全に様々なスポーツ活動が展開される場を提供する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	市民体育館の管理運営、利用許可、使用料徴収その他条例で定められた管理運営に関する事業を行い、健康づくり、体力づくりなど、スポーツに親しめる環境づくりを行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	利用件数	件	5366	3938	6224	6000
	利用者数	人	76858	35633	86409	80000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104
	参事以下職員	0.402	0.284	71	0.340	120	0.340	100
	臨時職員	0.100	0.100	100	0.160	160	0.160	100
支出内訳	人件費	3,723,874	2,740,852	74	3,321,470	121	3,459,049	104
	事業費	64,522,701	109,571,307	170	19,822,356	18	17,262,000	87
	合計	68,246,575	14,404,959	21	23,143,826	161	20,721,049	90
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債	50,000,000		0		-		-
	その他	1,830,860	1,205,080	66	1,754,980	146	1,871,000	107
	一般財源	16,415,715	13,199,879	80	21,388,846	162	18,850,049	88
合計	68,246,575	14,404,959	21	23,143,826	161	20,721,049	90	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	市民体育館利用状況								
指標説明(式)	市民体育館利用人員								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	95000	90000	94.7	80000	88.9	80000	100.0	
	実績	76858	35633	46.4	86409	242.5			
指標名2	市民体育館利用状況								
指標説明(式)	卓球場利用人員(大人)								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	3500	3000	85.7	3000	100.0	3000	100.0	
	実績	2819	2006	71.2	3254	162.2			

【効率性】

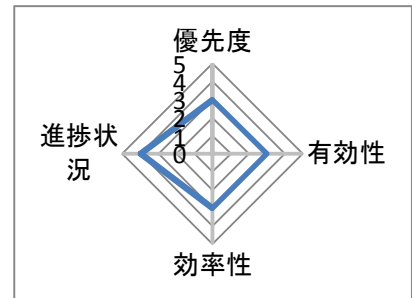
指標名1		市民体育館管理事業費							
指標説明(式)		市民体育館管理事業費総額							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	165286000	110326000	66.7	20790000	18.8	17262000	83.0	
	実績	64522701	109571307	169.8	19822356	18.1			
指標名2		市民体育館管理事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	148350000	99050000	66.8	9050000	9.1	4113000	45.4	
	実績	50431825	99702054	197.7	9693700	9.7			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	総利用者数、卓球場利用者人数において、体育館耐震補強工事以前の実績を超えることができた。	3
	組織運営・適正管理	施設の延命化に向け、今後も維持修繕に取り組む必要がある。	
効率性	コストの節減	節電に心がけ、光熱水費抑制に努めた。	3
	執行体制の効率性	平日夜間、休日の体育館受付業務をシルバー人材センターに委託を行い、執行体制は効果的である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	災害時の第一次避難所であることから、ライフライン断絶時、避難所としての機能設備の充実を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の維持修繕を行い、さらなる安心、安全な施設運営に取り組む必要がある。

配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501010200		事業の種類	2		
年度	25	事務事業名	市民プール管理運営事業		予算事業名	市民プール管理事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘
取組み事項		スポーツ施設の整備を行う			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		市民プール改修事業			市民プール改修工事			
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、プール利用者						
	誰(何)を対象として	市民、プール利用者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民、利用者が安全に利用できる施設として、管理運営を行う。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民プールの施設内における遊泳者の監視や利用者の受付対応、水質の維持管理を行うことにより、利用者が安全かつ快適にプールを利用できるよう努める。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	利用者数(総数)	人	7722	8206	8189	8000	
	利用者数(中央プール)	人	3431	3772	3964	3800	
	利用者数(西部プール)	人	4291	4434	4225	4200	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.450	0.100	22	0.080	80	0.140	175	
	臨時職員	0.000	1.324	-	0.020	2	0.012	60	
支出内訳	人件費	3,868,134	4,260,908	110	981,110	23	1,478,853	151	
	事業費	8,627,723	6,495,445	75	11,852,475	182	6,255,000	53	
	合計	12,495,857	10,756,353	86	12,833,585	119	7,733,853	60	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	398,090	407,400	102	360,710	89	434,000	120	
	一般財源	12,097,767	10,348,953	86	12,472,875	121	7,299,853	59	
合計	12,495,857	10,756,353	86	12,833,585	119	7,733,853	60		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民プール利用状況							
指標説明(式)		市民プール利用人員(総数)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	8000	8000	100.0	8200	102.5	8200	100.0	
	実績	7722	8206	106.3	8189	99.8			
指標名2		市民プール利用状況							
指標説明(式)		小学校のプール利用(学校教育課程として)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	4000	4000	100.0	4000	100.0	4000	100.0	
	実績	3488	3999	114.7	4370	109.3			

【効率性】

指標名1		市民プール管理運営事業費							
指標説明(式)		市民プール管理運営事業費総額(賃金含む)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	10477000	9587000	91.5	16576000	172.9	10245000	61.8	
	実績	9163523	8391985	91.6	15208125	181.2			
指標名2		市民プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1200000	300000	25.0	6400000	2133.3	300000	4.7	
	実績	1121700	757050	67.5	6012300	794.2			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	小学校の水泳指導、放課後児童保育として適正に使用でき、学校教育課程としての利用者が増であった。	3
	組織運営・適正管理	事故なく、適正な管理運営を図ることができた。	
効率性	コストの節減	水質管理に努め、使用水量、薬剤の節減に努めた。	4
	執行体制の効率性	プール監視員を市のパート職員として雇用し、適正な人員配置を行い、安全確保に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	少子化により、小学校の児童数が減少している昨今、大きな事故もなく、適正な管理運営ができています。	3

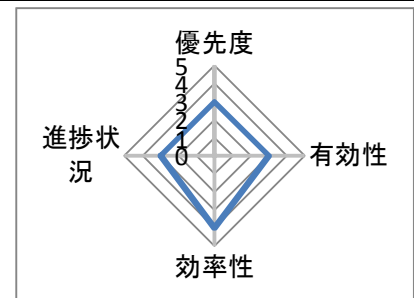
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	施設の老朽化が進み、中央プール管理棟の耐震改修、施設改修等、延命化が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	適正管理に努め、施設改修を計画的に推進するとともに、プール施設の今後の在り方について方向性を示す。



配点	25
総合評価	16

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号	010501010300	事業の種類	2
年度	25	事務事業名	市民グラウンド管理運営事業
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち	予算事業名	市民グラウンド管理事業
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ	担当部局名	教育委員会体育振興課
取組み事項	スポーツ施設の整備を行う	担当課長	小西まこと
		担当者名	朝田訓弘
		実施計画への記載	無
		主要事業の指定	無
実施計画事業名	スポーツセンター土壌改良工事 東部公園グラウンド改修事業		
根拠法規及び関連法規			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、市民グラウンド利用者	
	誰(何)を対象として	市民、市民グラウンド利用者	
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が安全に利用できる施設として、適正な維持管理を行い、スポーツの場を提供する。	

2 事業の概要 Do

実施の概要	市民グラウンドの利用者が快適に利用できるよう、施設の整備、充実に努める。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	利用者数	人	23323	17886	18280	20000
	利用件数	件	250	173	209	200

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104
	参事以下職員	0.430	0.320	74	0.380	119	0.380	100
	臨時職員	0.050	0.050	100	0.080	160	0.080	100
支出内訳	人件費	3,827,584	2,898,766	76	3,433,670	118	3,578,129	104
	事業費	4,700,220	4,447,335	95	3,837,499	86	3,766,000	98
	合計	8,527,804	7,346,101	86	7,271,169	99	7,344,129	101
財源内訳	国庫支出金			-		-		-
	県支出金			-		-		-
	市債			-		-		-
	その他	429,300	315,500	73	316,620	100	312,000	99
	一般財源	8,098,504	7,030,601	87	6,954,549	99	7,032,129	101
合計	8,527,804	7,346,101	86	7,271,169	99	7,344,129	101	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	市民グラウンド利用状況								
指標説明(式)	市民グラウンド利用人員								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	30000	30000	100.0	20000	66.7	20000	100.0	
	実績	23323	17886	76.7	18280	102.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

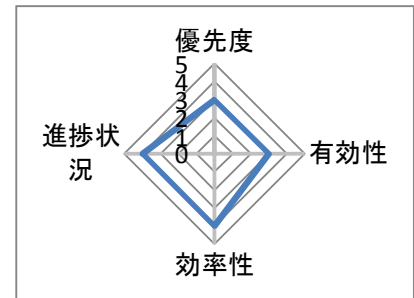
指標名1		市民グラウンド管理運営事業費							
指標説明(式)		市民グラウンド管理運営事業費総額							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4433000	4539000	102.4	3959000	87.2	3766000	95.1	
	実績	4700220	4447335	94.6	3837499	86.3			
指標名2		市民グラウンド管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1010000	1110000	109.9	110000	9.9	110000	100.0	
	実績	1459972	1100400	75.4	122325	11.1			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	天候により利用件数等が大きく左右されるが、前年度と比較し、利用者数、利用件数ともに増となった。	3
	組織運営・適正管理	利用団体との協働により、良好な施設活用が図れた。	
効率性	コストの節減	施設の維持修繕竣工により、管理運営事業費が減となった。	4
	執行体制の効率性	利用がない日および利用時間帯等、利用形態に合わせた委託管理の調整を行い、施設管理の効率性を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、適正な維持管理を行い、スポーツの場を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の充実や今後の適正管理体制について検討が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	使用実態に即した委託管理を行い、事業費節減に努める。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501010400	事業の種類	2
年度	25	事務事業名	温水プール管理運営事業	予算事業名	温水プール管理運営事業
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課	
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名
取組み事項	スポーツ施設の整備を行う		実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名	温水プール改修事業		温水プール改修工事		
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、温水プール利用者			
	誰(何)を対象として	市民、温水プール利用者			
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者が安全で快適に利用できるよう管理運営を行い、健康維持の増進、スポーツの場を提供する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		指定管理者制度により包括的に委託し、温水プール維持管理運営業務を行う。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	利用者数	人	101064	103981	107681	100000

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.320	0.100	31	0.140	140	0.300	214	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	2,841,784	1,079,336	38	1,393,510	129	2,733,489	196	
	事業費	31,851,750	38,541,300	121	32,407,515	84	38,290,000	118	
	合計	34,693,534	39,620,636	114	33,801,025	85	41,023,489	121	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	650,880	650,880	100	2,713,739	417	650,000	24	
	一般財源	34,042,654	38,969,756	114	31,087,286	80	40,373,489	130	
合計	34,693,534	39,620,636	114	33,801,025	85	41,023,489	121		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		温水プール利用状況							
指標説明(式)		温水プール利用人員							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100000	100000	100.0	100000	100.0	100000	100.0	
	実績	101064	103981	102.9	107681	103.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

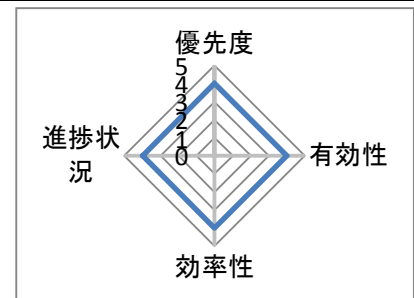
指標名1		温水プール管理運営事業費							
指標説明(式)		温水プール管理運営事業費総額							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	34000000	39600000	116.5	32593000	82.3	38290000	117.5	
	実績	31851750	38541300	121.0	32407515	84.1			
指標名2		温水プール管理運営事業費(修繕関係)							
指標説明(式)		修繕料+維持修繕費+工事請負費							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	13000000	18600000	143.1	10600000	57.0	3600000	34.0	
	実績	10851750	17541300	161.6	10559850	60.2			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者が増となり目標値を達成することができた。	4
	組織運営・適正管理	来館者にアンケートを実施し、要望に対しては可能な限り対応を行った。	
効率性	コストの節減	指定管理者による節電、節水等のコスト削減意識により、節減に努められている。	4
	手段の最適性	新規体操教室、体験教室、プールアスレチック、入会金無料期間を設ける等により、会員および利用者増を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	大きな事故もなく、健康維持の増進、スポーツの場を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	経年のため、プール施設改修計画による適正管理が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	計画的な施設維持修繕に努め、適正な管理を推進する。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020100		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	海洋訓練教室推進事業		予算事業名	海洋訓練教室推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	三宅 淳一		担当者名 堤 琢磨
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然に恵まれた海を利用して、ヨット・ボート・カヌーなど海洋スポーツの普及に努める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		子どもへの海洋スポーツの普及・促進					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	参加者	人	477	547	954		
	会員数(子ども)	人	9	14	18		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.024	100	0.040	167	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	504,864	492,312	98	501,818	102	645,429	129	
	事業費	712,329	706,693	99	2,203,777	312	760,000	34	
	合計	1,217,193	1,199,005	99	2,705,595	226	1,405,429	52	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,217,193	1,199,005	99	2,705,595	226	1,405,429	52	
合計	1,217,193	1,199,005	99	2,705,595	226	1,405,429	52		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加者							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1200	500	41.7	600	120.0	900	150.0	
	実績	477	547	114.7	954	174.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

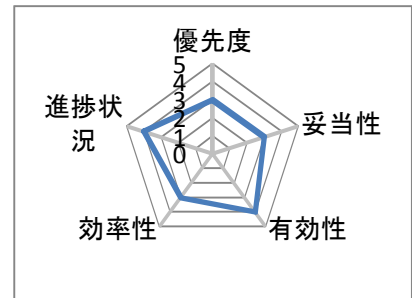
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	相生湾特有の穏やかな波を活かし、多くの参加者のもと海洋訓練を行えた。	4
効率性	手段の最適性	B&Gあいおい海洋クラブ(委託先)の、市から自立できる体制整備に取り組む必要がある。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定よりも数多くの参加者、また会員の獲得ができた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	市が事務局を担当することの妥当性の検討



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	委託先が自立できるような体制整備

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020200		事業の種類	3		
年度	25	事務事業名	社会体育計画管理事業		予算事業名	社会体育費事務経費	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	朝田訓弘	
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	庁内組織、千種川水系地区社会体育担当者会議およびスポーツ推進審議会						
	意図(どのような状態にしたいのか)	近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スポーツ推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	千種川水系地区社会体育担当者会議	回	1	1	1	1	
	スポーツ推進審議会	回	2	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.160	0.160	100	0.120	75	0.160	133	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	1,578,584	1,542,776	98	1,239,770	80	1,609,149	130	
	事業費	39,969	181,932	455	192,370	106	201,000	104	
	合計	1,618,553	1,724,708	107	1,432,140	83	1,810,149	126	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,618,553	1,724,708	107	1,432,140	83	1,810,149	126	
合計	1,618,553	1,724,708	107	1,432,140	83	1,810,149	126		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進審議会および千種川水系地区社会体育担当者会議							
指標説明(式)		審議会および担当者会議開催数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

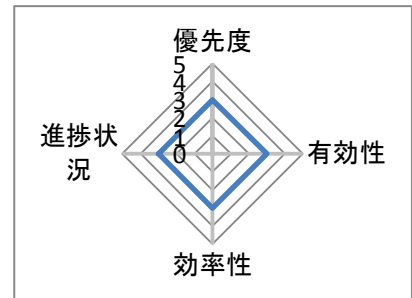
指標名1		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進審議会女性委員数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2		一般事務経費							
指標説明(式)		社会体育費事務経費+スポーツ推進審議会報酬							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	159000	201000	126.4	201000	100.0	201000	100.0	
	実績	156469	181932	116.3	192370	105.7			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツ推進審議会は年2回開催することができた。	3
	組織運営・適正管理	女性審議会委員の増員には至っていない。	
効率性	コストの節減	スポーツ推進審議会委員報酬のほか、必要事業費のみの予算計上である。	3
	執行体制の効率性	社会体育振興事業に大きく寄与できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツ推進審議会での答申を得ながら、計画的で効率的なスポーツの推進が図れている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	組織運営・適正管理	スポーツ推進審議会委員について、女性委員の増員が必要であり、全体的に委員の若返りを検討していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	スポーツ推進審議会委員報酬額については、条例で定められており、報酬額の改定には全庁的な審議が必要である。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020300		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	スポーツ活動推進事業		予算事業名	社会体育振興事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	片山誠之	
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が暮らしの中で体力づくりや健康保持等、それぞれの目的に合わせたスポーツ活動を生き生きと展開する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		各種競技スポーツの推進、スポーツクラブ21の推進、国際大会、全国大会出場選手に対する優秀選手激励制度の運用に取り組む。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	市民体育大会事業等	種目数	24	25	21	25	
	優秀選手激励制度	件	32	48	31	50	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.660	0.560	85	0.632	113	0.660	104	
	臨時職員	0.100	0.100	100	0.112	112	0.138	123	
支出内訳	人件費	5,760,784	4,872,676	85	5,448,906	112	5,973,375	110	
	事業費	2,895,713	2,993,137	103	2,620,990	88	2,814,000	107	
	合計	8,656,497	7,865,813	91	8,069,896	103	8,787,375	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	133,000	213,500	161	225,500	106	240,000	106	
	一般財源	8,523,497	7,652,313	90	7,844,396	103	8,547,375	109	
合計	8,656,497	7,865,813	91	8,069,896	103	8,787,375	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民体育大会等実施数							
指標説明(式)		市民体育大会+その他振興事業 ※市民体育大会:15種目 その他:6事業							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	27	26	96.3	26	100.0	25	96.2	
	実績	24	25	104.2	21	84.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

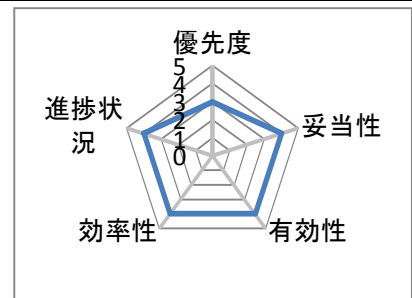
指標名1		市民体育大会等(1種目あたりのコスト)							
指標説明(式)		社会体育普及振興事業費÷大会等種目数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	72589	118807	163.7	108230	91.1	112560	104.0	
	実績	120654	119725	99.2	124809	104.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	制度の運用、各種振興事業とも適切に実施されている。	4
	市民サービス	スポーツ安全保険については、体育協会等の種目団体に広く活用された。	
効率性	コストの節減	優秀選手激励制度については、制度の趣旨を損なわないようコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりの目的に合わせたスポーツ活動が生き生きと展開できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業の自主的な運営を進めるため、各種目団体との連携が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	各大会種目の参加者を増加させ、参加者一人当たりにかかる必要事業費を削減する必要がある。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020400	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	ジュニアスポーツ振興事業	予算事業名	ジュニアスポーツ振興事業 優先度
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会体育振興課	
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ	担当課長	小西まこと	担当者名
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定
実施計画事業名					無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(ジュニア層)			
	誰(何)を対象として	市民(ジュニア層)			
	意図(どのような状態にしたいのか)	子ども達のスポーツへの関心が高まり、学校で地域で家庭で生き生きとしたスポーツ活動を展開する。特に小中学生のスポーツ人口の増加と基礎体力の向上を目指す。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		小中学生の基礎体力の低下が精神面や人間形成、学力の低下にまで影響を及ぼしている中、児童や生徒に対し、学校体育だけではなく、広くスポーツに接する機会を提供する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	相生湾チビ子駅伝	チーム	63	48	41	45
	少年親善剣道大会	チーム	93	82	111	90
	ジュニア陸上競技教室	人	105	84	90	90

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.640	0.584	91	0.618	106	0.640	104	
	臨時職員	0.100	0.100	100	0.140	140	0.152	109	
支出内訳	人件費	5,602,884	5,058,052	90	5,409,636	107	5,848,133	108	
	事業費	1,350,000	1,350,000	100	1,320,000	98	1,420,000	108	
	合計	6,952,884	6,408,052	92	6,729,636	105	7,268,133	108	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	383,500	260,600	68	234,200	90	249,000	106	
	一般財源	6,569,384	6,147,452	94	6,495,436	106	7,019,133	108	
合計	6,952,884	6,408,052	92	6,729,636	105	7,268,133	108		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ジュニアスポーツ普及振興事業							
指標説明(式)		事業(大会・教室等数)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	12	12	100.0	12	100.0	12	100.0	
	実績	12	13	108.3	12	92.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

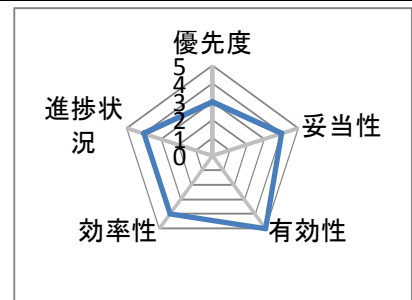
指標名1		ジュニアスポーツ(1大会・教室あたりのコスト)							
指標説明(式)		ジュニアスポーツ普及振興事業÷事業数(大会・教室等)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	112500	112500	100.0	110000	97.8	118333	107.6	
	実績	112500	103846	92.3	110000	105.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	他市町との交流や大会参加により、競技力の向上が図られている。	5
	市民サービス	子ども達に取り組みやすい教室や発達の場を提供できている。	
効率性	コストの節減	児童、生徒数の減少もあり、それに見合ったコスト削減を図っている。	4
	手段の最適性	子どもの基礎体力向上を目標に力点をおいて事業の展開を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各種目別大会において参加者が増加しており、子ども達のスポーツへの関心が高まってきている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	学校と連携を図り、子ども達のニーズにあった事業展開が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	事業規模や参加者数に見合った事業費の増減を行う。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020500		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	レクリエーションスポーツ振興事業	予算事業名	レクリエーションスポーツ振興事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	片山誠之
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	誰もが自分にあった形で生活の中にスポーツを取り入れる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民誰もが暮らしの中での体力づくりや健康維持等、スポーツを取り入れやすいように、レクリエーションスポーツに親しめる場の確保や大会等の開催を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	あそぼうる	回	4	5	5	5	
	ターゲットバードゴルフ	回	6	6	6	7	
	グラウンドゴルフ	回	5	5	5	5	
	スポーツフェスティバル参加者数	人	883	837	1440	1500	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.660	0.596	90	0.660	111	0.804	122	
	臨時職員	0.200	0.200	100	0.260	130	0.260	100	
支出内訳	人件費	5,995,484	5,391,040	90	6,025,410	112	7,438,133	123	
	事業費	5,524,000	4,344,000	79	4,354,000	100	4,385,000	101	
	合計	11,519,484	9,735,040	85	10,379,410	107	11,823,133	114	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	355,500	389,000	109	369,500	95	465,000	126	
	一般財源	11,163,984	9,346,040	84	10,009,910	107	11,358,133	113	
合計	11,519,484	9,735,040	85	10,379,410	107	11,823,133	114		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		開催事業数							
指標説明(式)		あそぼうる、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ペタンク							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	23	16	69.6	18	112.5	19	105.6	
	実績	17	18	105.9	18	100.0			
指標名2		スポーツフェスティバルAIOI参加者数							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	900	900	100.0	1300	144.4	1500	115.4	
	実績	883	837	94.8	1440	172.0			

【効率性】

指標名1		スポーツフェスティバルAIOI(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツフェスティバルAIOIに係る事業費÷参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3222	3222	100.0	2230	69.2	2066	92.6	
	実績	3284	3464	105.5	2013	58.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	スポーツフェスティバルについては、幼児から高齢者まで、より多くの市民が参加できるようプログラム内容の見直しを行い、参加者数は目標値を超えた。	4
	市民サービス	市民一人ひとりが主体的に行うレクリエーションスポーツについて、行政としてスポーツをする場の提供やきっかけづくりなどの側面支援を行うことができた。	
効率性	コストの節減	市民ニーズを把握、分析しながらスクラップアンドビルドを行い、ニュースポーツの普及等、事業の効果を高める必要がある。	4
	負担割合の適正化	スポーツフェスティバルは幼児から高齢者までの誰もが気軽に参加できるよう、参加料は無料としている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	市民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ活動に参加し、住民同士が交流を深めながら健康的な暮らしが図られている。	4

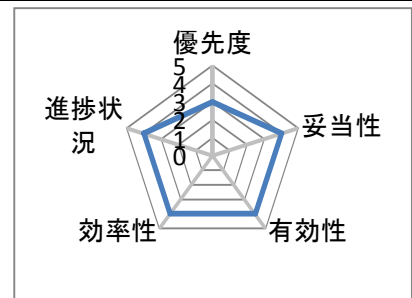
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	高齢化社会に向け、目標達成のため事業内容および運営等について検討する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	多世代で取り組めるスポーツ玉入れ「アジャタ」の第1回市民大会を開催し、地域コミュニティの活性化を図る。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020600		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	スポーツ教室事業		予算事業名	スポーツ教室事業		
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと		担当者名	朝田訓弘
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	初心者を対象としたスポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心を持ち、親しむ機会を提供する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ教室を開催し、基礎的な知識と技術の習得を目指すことで、スポーツに関心を持ち、親しむ機会を提供する。						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	スポーツ教室参加者数	人	271	160	261	280		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.080	0.040	50	0.240	600	0.120	50	
	臨時職員	0.450	0.160	36	0.240	150	0.240	100	
支出内訳	人件費	2,003,134	1,000,376	50	2,748,050	275	1,894,389	69	
	事業費	875,600	477,600	55	869,528	182	883,000	102	
	合計	2,878,734	1,477,976	51	3,617,578	245	2,777,389	77	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	875,600	477,600	55	869,528	182	883,000	102	
	一般財源	2,003,134	1,000,376	50	2,748,050	275	1,894,389	69	
	合計	2,878,734	1,477,976	51	3,617,578	245	2,777,389	77	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ教室参加者数							
指標説明(式)		参加者							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標		250	-	300	120.0	280	93.3	
	実績	271	160	59.0	261	163.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

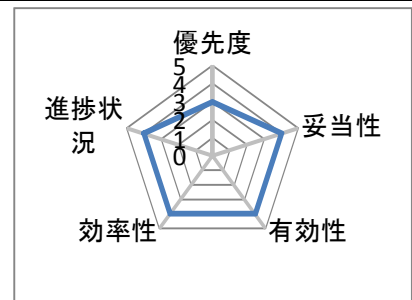
指標名1		スポーツ教室(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ教室実施事業費÷参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標		2492	-	2943	118.1	3153	107.1	
	実績	3230	2985	92.4	3331	111.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	体育館の耐震補強工事前と比較し、スポーツ教室全体の参加者が減少となった。	4
	市民サービス	健康体操、卓球、バレーボール、バドミントン、幼児体操の5教室を開催することができた。	
効率性	コストの節減	講師は体育協会加盟団体を主としたスポーツ団体に依頼しており、事業費は謝礼が主のため、コスト削減は難しい。	4
	手段の最適性	各スポーツ教室とも開催回数は3期であり、教室の開催時期、開催回数ともに最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	スポーツに関心をもち、親しむ機会を提供できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	教室に参加したその後についても、スポーツを親しむよう、スポーツ活動普及促進を図る必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	参加者が少数であっても講師への謝礼は一律同額のため、教室開催のPRを積極的に行う。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020800		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課		
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	片山誠之
取組み事項		スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	各種目競技の普及推進、奨励を促す。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		権威ある大会等において、成績が顕著な個人や団体に対しスポーツ顕彰の贈呈を行うことで、競技者の士気を高め、さらには各種目競技の普及推進、奨励を促す。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	スポーツ顕彰	件			55	70	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.222	-	0.260	117	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	2,023,844	-	2,412,249	119	
	事業費			-	119,900	-	285,000	238	
	合計			-	2,143,744	-	2,697,249	126	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	2,143,744	-	2,697,249	126	
合計			-	2,143,744	-	2,697,249	126		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ顕彰受賞者数							
指標説明(式)		県大会以上に進み、スポーツ顕彰を受賞した人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	70	-	70	100.0	
	実績			-	55	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

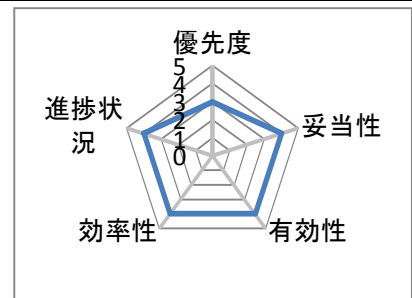
指標名1		スポーツ顕彰受賞者(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		スポーツ・文化芸術顕彰事業÷受賞者							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	4071	-	4071	100.0	
	実績			-	2180	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	教育委員会として顕彰制度の一本化を図り、平成25年度に「相生市スポーツ顕彰に関する要綱」として施行した。	4
	市民サービス	競技スポーツに取り組む人の努力にこたえることができた。	
効率性	コストの節減	制度の趣旨を損なわないようコスト削減に努める。	4
	手段の最適性	要綱に基づき、適正に運用できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	功績に相応した顕彰を贈呈できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	制度改正を行ったところ、受賞者は減少したが、受賞資格等の明確化が図られ、改正は適切であった。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	市民ニーズ	市広報紙やホームページを活用し、効果的な制度の周知、PRIに努める。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501020900		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	多世代型スポーツ導入事業		予算事業名	多世代型スポーツ導入事業(ふるさと応援基金事業)	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会体育振興課			
施策名(中)	誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ		担当課長	小西まこと	担当者名	片山誠之	
取組み事項	スポーツ活動の支援・充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	多世代が楽しめるスポーツを導入し、地域コミュニティの活性化を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学生から高齢者までの多世代が一堂に会し、気軽に楽しめる新規スポーツとして、スポーツ玉入れ「アジャタ」の導入を行い、スポーツを通して市民のふれ合いや地域交流の促進等、地域コミュニティの活性化を図る。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	大会参加者数	人			210		
	用具貸出件数	件			21		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.400	-		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	3,392,130	-	324,189	10	
	事業費			-	789,200	-		0	
	合計			-	4,181,330	-	324,189	8	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-	789,200	-		0	
	一般財源			-	3,392,130	-	324,189	10	
合計			-	4,181,330	-	324,189	8		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		大会参加者数							
指標説明(式)		参加者(2大会)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標			-	300	-		0.0	
	実績			-	210	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

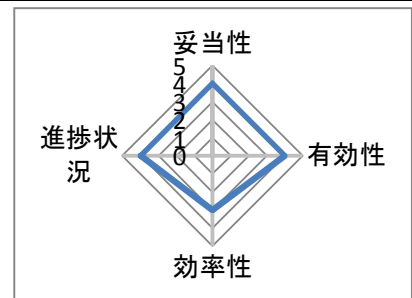
指標名1		多世代型スポーツ導入(1人あたりのコスト)							
指標説明(式)		多世代型スポーツ導入事業費÷参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-	2666	-		0.0	
	実績			-	3758	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	大会参加者数が当初の目標値より下回ったが、市内7スポーツクラブすべてから参加があった。	4
	市民サービス	市民に「アジャタ」という名のスポーツを浸透させることができた。	
効率性	負担割合の適正化	大会参加費の有無も含め、金額の妥当性について検討する必要がある。	3
	手段の最適性	他事業の開催もあり、土、日曜日における市民体育館の使用状況は飽和状態であり、大会の実施については1~2回が最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	ふるさと応援寄附で行う多世代型スポーツ導入事業は完了となるが、今後、既設事業において大会等の実施を継続する。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	小学生と大人でチームを編成したミックス部門の設置等、競技内容や大会の開催時期については一考の余地がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容

配点	32.5
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010501030100		事業の種類	3	
年度	25	事務事業名	スポーツ推進委員事業		予算事業名	相生市スポーツ推進委員事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会体育振興課	
施策名(中)		誰もが気軽にスポーツライフを楽しむ			担当課長	小西まこと	担当者名 片山誠之
取組み事項		スポーツリーダーを育成する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		スポーツ基本法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域でのスポーツリーダーとして活動することで、スポーツ活動が活性化する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		スポーツ推進委員の資質向上のため、各大会への参加、近隣の市町や市内での交流会、研修、講習参加や開催に取り組む。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	スポーツ推進委員会	回	9	11	10	10	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.330	0.256	78	0.288	113	0.328	114	
	臨時職員	0.000	0.000	-	0.020	-	0.020	100	
支出内訳	人件費	2,920,734	2,284,280	78	2,580,006	113	3,008,897	117	
	事業費	3,073,560	3,331,140	108	3,456,820	104	3,590,000	104	
	合計	5,994,294	5,615,420	94	6,036,826	108	6,598,897	109	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	5,994,294	5,615,420	94	6,036,826	108	6,598,897	109	
合計	5,994,294	5,615,420	94	6,036,826	108	6,598,897	109		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		スポーツ推進委員数							
指標説明(式)		スポーツ推進委員数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	26	27	103.8	27	100.0	28	103.7	
	実績	27	27	100.0	27	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

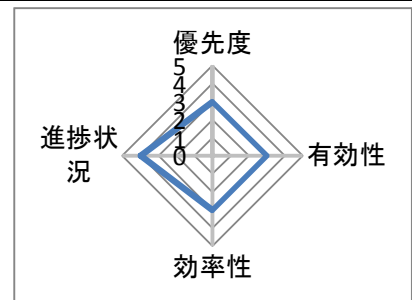
指標名1		スポーツ推進委員報酬							
指標説明(式)		スポーツ推進委員報酬総額							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	3080000	3080000	100.0	3311000	107.5	3311000	100.0	
	実績	2949100	3095400	105.0	3311000	107.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各事業の指導や支援が円滑に行われている。	3
	組織運営・適正管理	組織運営は適切かつ円滑に行われている。	
効率性	コストの節減	各種事業や新規スポーツ事業等の応援をスポーツ推進委員に依存しているため、報酬の削減は困難である。	3
	執行体制の効率性	女性委員の増員、委員の若返りを図る必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域でのスポーツリーダーとして活動できている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	執行体制の効率性	地域スポーツのリーダー確保や育成が重要であることから、各種目や各地域から均等に委員を選出する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	事業応援に必要な人員数を検討し、必要最低限の応援を依頼することでコスト削減を図る。

配点	25
総合評価	16